

ソウル大学日本研究所との研究交流ワークショップの開催について

2010年7月30日（金）、一橋大学佐野書院において、市民社会研究教育センターとソウル大学日本研究所の主催による研究交流ワークショップ「日本の社会変動と地域社会」を開催しました。この企画は、ソウル大学日本研究所が現在進めている日本研究プロジェクトに、当センターが協力する形で実施されました。当日は、ソウル大学側から7名の研究スタッフが来訪し、一橋大学側からは教員5名（社会学研究科4名、経済学研究科1名）、大学院生3名が出席して、濃密な議論を行うことができました。ご協力をいただいた皆さまに厚く御礼を申し上げます。

ソウル大学日本研究所・一橋大学社会学研究科 研究交流ワークショップ 記録  
「日本の社会変動と地域社会」

日時：2010年7月30日（金）13:00～18:00

場所：一橋大学国立キャンパス 佐野書院

13:00 開会 一橋大学大学院社会学研究科 市民社会研究教育センター 林大樹

13:15～14:30

〈基調報告〉 【一橋大学国際交流セミナー】

地域の市民社会の組織とネットワークの変化——川崎市を中心に 韓榮恵（ソウル大学）

〈ワークショップ：ソウル大学メンバーによる研究報告と討論〉

14:45～15:00

日本における地域社会研究の現代的課題——導入に代えて 町村敬志（一橋大学）

15:00～16:00 第1テーマ： 地域社会と教育

日本の地域社会における郷土学習の展開 朴東誠（ソウル大学）

16:10～17:10 第2テーマ： 在日社会の変動

東京都政と在日コリアン——美濃部「革新都政」と石原「保守都政」との事例比較  
朴正鎮（ソウル大学）

17:20～18:20 第3テーマ： 地域社会とエスニシティ

横浜における在日外国人の生活世界とエスニック・メディア 徐東周（ソウル大学）

討論参加教員 一橋大学：猪飼周平、木村元、林大樹、町村敬志（以上、社会学研究科）、

徐鳳晚（経済学研究科）

ソウル大学：林采成、金銀恵

18:20～18:30 閉会

主催：一橋大学大学院社会学研究科 市民社会研究教育センター

ソウル大学日本研究所